

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プレイ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 27日		～ 2026年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 24日		～ 2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な支援が法人内にあるため、家族のニーズに合わせて支援に繋げる事が出来ます。 例えば、むぎのご発達クリニックを受診する事を勧め、OTのリハビリに繋がりました。	面談や家庭訪問を行い、家庭の状況や困り感を把握していきましました。また電話でこまめに子どもの様子や活動内容を伝えていきました。	今後も家庭のニーズを聞き、家族と子どもたちに寄り添って安心して過ごせるような支援を行います。
2	兄弟の事業所と情報共有を行い、協力して支援を行いました。 例えば、困り感のあるご家庭の家族支援会議を聞き、色々な制度を利用出来るように相談室に繋がりました。	クラス会議などで情報共有を行いチームで支援を行い、兄弟のクラスやショートステイ、ヘルパー、相談室とも情報共有を行い共通理解を持ちました。	兄弟のクラスと情報共有を行いながら連携して支援を行っていきます。
3	クラス会議で子ども達や家庭の状況の情報共有を行い、職員間で共通の認識を持って支援をしています。	職員のSVを行い、困っていることや悩みなどを把握し、解決のための助言を行いました。職員同士助け合えるようにコミュニケーションをたくさん取っていきましました。	困ったことなど上司と相談したり、クラスの職員と連携し、チームで支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	並行通園している幼稚園や保育園との情報共有や連携、交流が難しいことがあった。	インフルエンザ、胃腸炎などの感染症の流行などで互いの施設を行き来することが難しかった。	保護者に同意を得て、保育園・幼稚園へ電話での情報共有を含めお子さんの様子や関わり方を双方で擦り合わせを行い、安心して通園できるようにしていきます。
2			
3			